

淀川が氾濫すれば、安威川以南の最大浸水深は 7.3m、浸水継続時間は 2 週間以上。最悪の状況では財産の保全までを確保することは困難。命を守る行動が必要。

→ 避難行動は、市外への広域避難が基本

- ① 避難スペースが絶対的に不足（避難者 61,929 人に対し 5,479 人分）。
- ② 広域避難に支障のない住人は摂津市外の安全な場所へ避難
- ③ 遠方への広域避難が難しい災害時要援護者※は、特別な配慮なくして避難は不可能。  
→ 身近な避難所・緊急避難場所に頼らざるを得ない。
- ④ 要配慮者だけで考えれば余裕がある避難所・緊急避難場所も存在するが、広域避難が間に合わなかった住人の緊急避難も想定されるため、余裕があるとは言えない。
- ⑤ 仮に緊急避難場所に避難できたとしても、ハザードマップによれば、安威川以南は 2 週間以上水がひかないとされており避難所は陸の孤島となる。（安威川以南には安全な避難所が一つもない）
- ⑥ 水害リスクが高い地域内であっても、住民の命を守るためにはある程度の数の避難所の設置は必要不可欠。
- ⑦ リスクのある域内において安全な避難所を設置するためには、そのリスクを排除することが必要であり、その方策の一つが高台づくり。
- ⑧ 高台まちづくりは、高台をネットワーク化して住民の安全を確保。

※ 災害時要援護者等とは、1 人暮らし登録をされている高齢者・身体障害者手帳 1.2 級・精神障害者手帳 1 級・療育手帳 A・要介護認定 3.4.5 などのうち、災害弱者として自治会等への個人情報提供に同意された方。